

第九中学校・中央中学校統合委員会 要 点 記 録

第 7 回

開 催 日 時	平成 22 年 2 月 19 日(金曜日) 午後 6 時 26 分～7 時 36 分	
開 催 場 所	区役所 第 10 会議室	
出席者	委 員	望月清次、折原烈男、佐藤富代、矢島敏正、村山智江、吉田真知、南直也、若林由紀恵、山口廣子、田中一夫、山田隆、上村広美、宮下彰、鳥海重年、前田光男、森孝夫、吉村恒治 (敬称略、順不同)
	そ の 他	財産管理分野施設整備担当
	事 務 局	学校再編担当 設計事務所：パシフィックコンサルタンツ(株)
傍 聴 者	1 人	
会 議 次 第	【議事】 1 第九中学校・中央中学校統合新校校舎建築基本構想・基本計画(案)について 2 今後の第九中学校・中央中学校統合委員会検討スケジュール(予定)について 3 その他	

第 7 回 第九中学校・中央中学校統合委員会 会 議 要 旨

1 開 会

委員長

これより第7回の統合委員会を開会する。
今のところ傍聴者はいないとのことである。

2 議 事

議事(1)第九中学校・中央中学校統合新校校舎建築基本構想・基本計画(案)について

委員長

まず、第九中学校・中央中学校統合新校校舎建築基本構想・基本計画(案)について、これは、今まで皆さんと議論を重ねてきたものを計画案としてまとめたものである。これについて、設計事務所から説明をお願いする。

■第九中学校・中央中学校統合新校校舎建築基本構想・基本計画(案)について、設計事務所より説明
(概要)

○「1.施設整備に関する状況」、「2.計画地周辺に関する状況」、「3.統合新校校舎建築の基本的な考え方」については、以前、建築基本構想(案)としてお示ししたものと大枠は変えてい

ないので、ご確認いただきたい。「4.全体施設計画」のところから説明させていただく。

○「4.全体施設計画」

- ・「施設規模の整理」では、これまで「諸室の検討」として示し、議論してきた一覧表を載せている。計算上で想定延床面積は10,766平米程度となるが、今後、基本設計、実施設計を進めていくと1割程度の増減があると見込んでいる。これは、廊下とかエントランスホールとかをどのように設けるかなどの計画によって増減する部分だと思う。
- ・「諸室の機能図」では、これまで「諸室構成の整理」として検討してきたものである。諸室配置の前提として、普通教室ゾーンとか特別教室ゾーンとか管理ゾーンとかのゾーン区分、配置するうえでの配慮、各ゾーンのつながりを示している。
- ・「各所計画」では、「統合新校校舎建築の基本的な考え方」にもとづき、配置計画、平面計画、構造計画、設備計画、環境計画についてまとめている。
- ・「基本配置案」では、前回、「建物配置検討図」として示した4つの案のうち、屋内プールを最上階に配置する案はやめようとなったので、これを除いた3つの案をA案、B案、C案として載せている。
- ・「デザインコンセプトと計画イメージ」では、「統合新校校舎建築の基本的な考え方」の計画コンセプトとして挙げている3つの大題「教育の未来を創る学校」、「健やかな身体を育む学校」、「地域と共生する学校」について、どのような場をつくっていくかということを示している。また、参考イメージとしての写真を入れている。

○「5.工事計画」

前回「工事スケジュール」としてお示ししたものを入れている。

○「6.今後の課題」

今までの議論とかアンケート結果とかを踏まえ、今後の基本設計、実施設計を進めていくにあたっての課題である。先に説明した「4.全体施設計画」のうち「各所計画」で示した配置計画、平面計画、構造計画、設備計画、環境計画の項目ごとの課題を整理してまとめている。

委員長

会議の途中であるが、只今の説明中に傍聴者が1名お見えになっている。傍聴を許可したいがよろしいか。

— 異議なし —

委員長

それでは、傍聴を許可する。

今、設計事務所からきめ細かい説明があったが、皆さんからご意見を聞く前に、この「第九中学校・中央中学校統合新校校舎建築基本構想・基本計画（案）」の取り扱いについて、事務局から説明をお願いします。

■「第九中学校・中央中学校統合新校校舎建築基本構想・基本計画（案）」の取り扱いについて、事務局から説明

（概要）

- 「第九中学校・中央中学校統合新校校舎建築基本構想・基本計画（案）」については、本日の統合委員会でご了承いただければ、統合委員会からの意見として、教育委員会へご提出いただく。
- 教育委員会では、いただいたこの案を地域や保護者の皆さんにご説明し、ご意見を伺っていきたいと考えている。説明会の日程と周知方法は次のとおり予定している。

<説明会（予定）>

- ・3月19日（金曜日）18時30分から区役所
- ・3月25日（木曜日）14時から区役所

<説明会の周知方法（予定）>

- ・次の統合委員会ニュースを少し早めに発行し、その中に書き込む。
- ・両校の通学区域内にある掲示板にポスターを掲示する。
- ・教育委員会ホームページに記事を掲載する。
- ・中央中学校の周辺の方々には、チラシをポストに投函する。

○教育委員会としては、説明会などのご意見も踏まえ、いただいた「建築基本構想・基本計画（案）」の（案）を取って、「建築基本構想・基本計画」という形でまとめていきたいと考えている。その際、今後、設計に入るために配置計画を一つに絞らせていただきたいと考えているが、絞り込む際には、A案からC案までの案のほか、場合によっては、これらの考え方を基本としつつも、折衷した案になることもあるので、その点についてはご了承いただきたい。

○教育委員会として策定する「建築基本構想・基本計画」については、次回の統合委員会でお知らせできる見込みである。

委員長

皆さんから異論がなければ、これを統合委員会の意見として教育委員会に提出することになるが、何か意見や質問があればお願いしたい。

委員

これでよしいと思うが、トータルのことで気になる点があるので伺いたいことがある。

例えば、この建築の中でセキュリティーのことが入っていたが、警察署が近いから心配ないのかなという気もするが、具体的な対応をどのように考えているのか。

もう1点は、今世紀前半に大きな地震があるというようなことも言われているが、耐震構造について伺いたい。

委員長

セキュリティーと耐震構造についてお話しいただきたいとのことである。

事務局

まず、セキュリティーについては事務局からお答えする。今現在、学校でセキュリティーとしては、まず生徒が登校し終わった後、門を閉めると強い力で鍵がかかり、インターホンが押されると中から来校者を確認し、解錠するような仕組みになっている。このようなことをこれからも続けていきたいと思う。

それから、学校110番とあって、学校によって設置箇所はいろいろであるが、ボタンを押すと警察に通報するという押しボタンがある。あとは、入り口に向かって監視カメラもつけてある。

委員

今、ついているのか。

事務局

はい。それで、今お話したようなことを基本にしながら考えていきたいと思っている。

委員長

では、耐震構造についてお願いしたいが。

設計事務所

耐震については、この「建築基本構想・基本計画（案）」でもうたっているが、建物の用途に応じて設計時に地震力を割増す係数が定められており、これを重要度係数とか用途係数という。普通は用途係数1.0で割増を掛けないが、学校は避難場所として位置づけられた施設なので用途係数1.25という割増しをして、阪神・淡路大震災ぐらいの地震が起こっても人命を確保するというような目標を定め、そういった目標に応じて計画していくという耐震構造となる。

ただ、厳密にいうと、阪神・淡路大震災クラスの地震が起こって、壁にひび割れなどが起こらないかということそうではなくて、ひび割れの可能性は考えられるし、全くの無傷ということではない。地震後も建物を使用できるようにということをご理解いただきたい。

委員

このA案、B案、C案とある中から一つの案に絞られるということであるが、耐震の面はどの

ようになるか。

設計事務所

今回、A案、B案、C案も、基本的には屋内運動場など大空間の構造形態の群と、間仕切りがこまめに入っている教室などの構造形態の群があり、地震が起こったときに揺れ方が違う。大空間ではしなるような形で地震に対する抵抗をするし、教室などは壁がこまめに入っているので住宅と同じでどちらかという固さで耐震性能を確保するというような形になる。構造形態の違う群としては分けているし、なおかつ構造の荷重として、水荷重というものは結構重たくなるが、今回の計画ではプール諸室を最下階に配置している。一番重たいものを一番下に配置するのは基本的な構造計画としては最も安定する。そういった面を今のプランでは入れている。

例えば、地震などによる振動に対応するために、エキスパンションジョイントといって構造的に分割された建物に隙間を設けて建物同士を結合することもできるし、一体の建物とすることもできるが、具体的には次年度の基本設計等で計画していくことになる。

委員長

ほかに何か質問や意見があればお願いしたい。

委員

太陽光パネルをつけるということだが、かなりお金がかかってくるのではないかと。今、非常にはやりで、一般家庭でも太陽光パネルを置いていて、140万円とか150万円とかをかけてつけて、1か月で2,000円程度の電気料金が節約されるという。20年、30年もたないとだめだと思うが、家庭では恐らく元を取れないと思っている。20年先、30年先のことを考えた時に、パネルにひび割れなどがおきて、恐らく使えなくなるのではないかと思うがいかがか。

区担当

設置費も非常にかかるし、20年、30年では元も取れないということになるが、環境面からいうと二酸化炭素などの温室効果ガスの発生を削減できるという利点もある。また、環境教育として、生徒に見せるというか、実際にそういったもので発電して学校の電気を賄うといったことも大事ではないかと考えている。今、20キロワットの発電で1,000万円ほどかかるという試算になっている。

委員

今、非常に二酸化炭素などのいろいろな問題が出ているが、恐らく10年先、15年先になると、もう忘れてしまって、そういう時代もあったというふうになるのではないかと。それに多くのお金をかけるのはどうなのかなと、やめるほうに賛成しているわけではないが、本当に必要なのかなと疑問に思った。二酸化炭素の排出を削減するというのは非常にいいと思うが、その辺もお考えなのかと思って、今意見を出したところである。

例えば、これを学校につけた場合の耐用年数はどのくらいか。

事務局

一般的に15年から20年ぐらいだと思う。学校につけるものは特殊なものではないので、一般的なもので設定されると思う。

設計事務所

今、盛んに技術開発がされており、政府も力を入れているので、先々、発電効率のよい太陽光パネルが出たときに、お金のかかる話ではあるが、取り替えが可能になることも考えられる。

委員

これは、家庭で設置する場合に補助があると思うが、学校の場合も補助があるのか。あるとすれば、どのくらいの補助が出るのか。

区担当

今、何校かで太陽光発電設備の設置をしているが、現在は補助をもらいながらやっている。先ほどの20キロワットの発電で1,000万円かかるとすると、補助金は500万円出る。ただ、補助についても制度がどんどん変わると思うので、今後建てる時にどのくらいもらえるかということも変わってくると思う。

どちらにしても、設置するかどうかについては、そういった効率のことも考えながら教育委員会、学校と相談しながら進めていくことになると思う。

委員

雨水排水計画について伺いたい。私の勤務している会社などの例では、トイレの洗浄水などに雨水を利用しているが、そういうこともやはり考えているのか。以前見学した豊島区の学校では、そんなに水が貯まるのかなと思うほど、傘立ての水まで利用されているようだったが。

設計事務所

その辺は視野に入れて、仮に雨水貯水槽に雨水を貯め、殺菌処理等をしてポンプアップし、トイレの洗浄水に使うようなことも考えられる。

あとは、最近ではヒートアイランド現象として夏場に極端な集中豪雨などがあり、水害を軽減する観点から雨水貯留とか浸透性のある雨水貯留槽とかをしっかりと設けたいという視点で、雨水排水計画としている。

委員長

ほかにいかがか。皆さんから意見などを出し尽くされたものが、まとまっている形である。

教育委員会へ提出するときには、「建築基本構想・基本計画（案）」の案はとれるのか。

事務局

「建築基本構想・基本計画（案）」のままである。

委員

計画イメージの写真が掲載されているが、白黒ではさっぱりわからない。写真の下に説明が書かれているので、ああそうかと思うけれど、カラーか何かに差し替えたほうがよいのではないか。

事務局

元はカラーできれいであるが、経費の関係で白黒印刷をしたため、このようになっている。

委員

イメージがわからないのできれいなほうがいいと思うが。

委員長

カラー写真が難しいならば、絵としてイメージ図のほうがいいかもしれない。

29ページにデザインコンセプトということできめ細かく書いてある。これを元にデザインされていくので、一番大事な部分だと思うが、問題ないか。

デザインのイメージなどは、来年度以降に設計の段階などででてくるのか。

事務局

今、計画イメージとしての写真は、こういうのもいいのではないかとということで、参考イメージとして他所の学校のもの載せている。この学校については、実際に設計が進んでいくと、建築前なのでもちろん写真ではないが、イメージ図のような絵などが出てくる形になると思う。

委員長

それでは、これを統合委員会の意見として、教育委員会に提出するが、よろしいか。

— 異議なし —

委員長

教育委員会へは、委員長と副委員長とで提出したいと思うが、よろしいか。

— 異議なし —

委員長

それでは、お任せいただいたということで進めたい。

委員

今、非常に税金等も減っている状況等々がある中で、建築計画を我々が出していくということになる。しかし、子どもたちに夢のある学校づくりというようなスタンスで今まで進めてきていると思うので、財政的に厳しいということは重々わかるが、やはりそういうことも含めて教育委

員会でご審議いただければありがたいということ、提出の際に委員長から伝えていただきたい。
委員長

はい。一言そういうことを切にお願いしてきたい。

議事(2)今後の第九中学校・中央中学校統合委員会検討スケジュール(予定)について

委員長

では次に、今後の第九中学校・中央中学校統合委員会検討スケジュールの予定について、事務局から説明をお願いします。

■今後の第九中学校・中央中学校統合委員会検討スケジュール(予定)について、事務局より説明(概要)

- 来年度に入ると統合2年前となり、これまでほかの地域で行ってきた通常の統合委員会での検討事項が入ってくるため、改めてご案内したい。これからお話する具体的な内容は、これまでの統合委員会で行われたことを申し上げるが、必ずしもそのとおり行わなければいけないということではない。参考にしていただければと思う。施設の検討については、今後も引き続き入ってくるが、それ以外のところを説明したい。
- 校名の検討(平成22年5月頃から平成23年2月まで)
平成23年1月から2月頃を目途に名づけていただければと思う。校名の公募を夏休み頃に行い、その後絞り込んでいく作業をしている。校名は、統合委員会で取りまとめ、教育委員会に報告いただいた後に、教育委員会で議決をし、区議会に条例改正の形で提案され、可決されれば正式決定になる。通常では、平成23年7月頃になる。
校名が決まると、校歌、校章の検討に入る。
- 校歌の検討(平成23年3月から平成23年11月まで)
校歌は、フレーズを募集して、その中からいくつかを使ってほしいということで、専門家に依頼している。専門家には、全くコネクションがないところで依頼したこともあるが、できれば、何らかのゆかりのある方のほうが望ましいと考えており、依頼もしやすいだろうと思う。
- 校章の検討(平成23年3月から平成23年9月まで)
校章は、デザイン画を募集し、絞り込む過程でデザイン会社に依頼してデザイン化している。校章が決まらないと校旗がつかれないので、平成23年の夏休み明けにまとめていただければと思う。
- 校旗の検討(平成23年9月から平成24年1月まで)
- 学校指定品の検討(平成22年7月から平成23年10月まで)
統合委員会では、主に標準服について検討をしていただく。標準服が必要かどうかから議論をしていただき、必要だということになれば大まかな形を検討する。その後、細部の細かいところは、学校での検討に委ねている。標準服以外の体操服などについては、運動のしやすさや生活指導面の検討が必要なことから、学校での検討に委ね、結論を統合委員会に報告していただき、了承する、という形をとっている。
- 新校のあり方の検討(平成24年3月まで)
新しい学校をどんな学校にしていくのかなど、新しい学校のあり方についてであるが、ほとんどが教育課程に関することになる。統合委員会の所掌事項としては、教育課程に関するものを除くとしているため、学校が検討することになるが、学校から適宜検討状況の報告を受け、意見を出していくということ想定している。

委員長

何か質問などはあるか。

来年度以降、新校舎の設計関係も交えて一緒にいろいろと議論していくことになるので、大変な仕事だと思うが、皆さんにはまたよろしくお願ひしたい。

議事(3)その他

委員長

本日、皆さんのお手元に配布している「第九中学校・中央中学校の教育に関するアンケート」について、学校より説明をお願いします。

■第九中学校・中央中学校の教育に関するアンケートについて、学校より説明 (概要)

○学校としても新校のあり方について検討する準備委員会を設けていることを以前の統合委員会でも報告させていただいたところである。そのときにも少し触れたが、教育目標や将来のビジョンを立てるにあたり、皆様方の意見、そして生徒、保護者の意見等を踏まえて検討していきたい。これができないと、それぞれの教育課程を編成するうえでの方向性が定まらないということになるので、学校で意見を出し合い、教育に関するアンケートを実施したいと思っている。以前もお願いしたところであるが、アンケート実施にあたり、印刷、配布、集計等について、統合委員会の皆様のお力添えをいただければありがたいと思う。

○アンケートの実施時期

- ・新1年生が入学してから、この4月から5月ぐらいに実施したいと考えている。

○アンケートの対象等

- ・保護者、小学校保護者、地域、教職員用

保護者については、九中と中央中の全保護者、九中と中央中の通学区域をほぼ原則として小学校4年生から6年生の保護者を考えている。地域の方については、この統合委員の皆様、学校評議員、地区懇談会の方々から意見をいただきたいと思う。教職員については、九中と中央中の教職員を対象にしたい。

- ・生徒用

九中と中央中の生徒を対象に、フリーな記述方式で子どもたちの新鮮な感覚等を踏まえてできたらと思っている。

委員長

新入生が入ってから4月から5月ぐらいに、このアンケートを実施するということである。それで、配布と回収等については、また統合委員会の協力をお願いしたいということである。

委員

申し訳ないが、できたら集計等のご協力もお願いしたい。

委員長

これらのことについて、皆様のご協力をいただきたいとのことであるが、よろしいか。

— 異議なし —

委員長

では、そのときになったらお願いしたい。

委員

生徒用のアンケートは、学校で書かせるのか。

委員

はい。

委員

学校で、担任の先生によっても違うのかもしれないが、例えば、10分とか15分とか時間を割いて書く時間を設けるということか。休憩時間に書くとか、家で書くということはないのか。

委員

私どもは、学校内で書かせたい。2校しかないなので、やるとしたらどこかで時間設定をして、全学年一斉にできると思う。

委員

私もそのほうがいいと思う。持ち帰らせたのでは、多分戻ってこない。マルバツ形式でなく、これだけあるとなかなか書けないだろう。

委員

学校の時間中であれば、どのように書いたらいいのかと先生に質問する子もいるだろう。

委員

子どもたちからも、期待した答えをやはりいただきたい。

委員

学校としては、このようなことで、夏休み近くぐらいまでには方向性を示していきたいと思っている。それを受けて来年度中に大まかな教育課程等々の編成を終えていきたい。統合前年の平成23年度には、抜け落ちている部分がないようにメスを入れていくようなことで考えている。来年度はこちらの統合委員会ともども、学校も忙しくなるかなと思っており、お力添えをよろしくお願ひしたい。逐次、ご報告させていただく。

委員長

新校のあり方についても、皆さんと討議していくことになると思うが、よろしくお願ひしたい。

また、生徒用のアンケートは学校で時間を設けてやるということである。それから、アンケート実施にあたっては、統合委員の皆さんのお力を借りたいということなので、よろしくお願ひしたい。よろしいか。

— 異議なし —

委員長

では、次回の日程を調整したい。PTAの役員改選などもあると思うので、少し間をあくが、5月に開催したいと思う。連休や22日の土曜日には九中の体育祭、23日の日曜日には区長選挙もあるため、5月12日から14日、17日、18日あたりで開催したいがいかがか。

— 日程調整 —

委員長

日程調整の結果、第8回は5月12日の金曜日に午後6時30分から区役所で開催したい。詳しい会場は開催通知で確認いただきたい。

これまで毎回統合委員会にご出席いただき、校舎の検討に関する支援をいただいた設計事務所の皆さんについては、建築基本構想・基本計画の策定支援業務の期限が3月末ということで、今回が最終回となる。今までありがとうございました。それでは、一言ごあいさつをお願ひしたい。
設計事務所

和やかな雰囲気の中で、進め方も含めて、皆さんからの非常に新鮮で貴重なご意見をいただき、進めてくることができた。年末に田舎に帰ったが、自分の通った中学校は耐震性能がないので解体されるということであった。その時に、こちらの九中・中央中の統合のこと、校舎が解体されるというのはこういう気持ちになるのだなと思った。立派な校舎をつくっていただければと思う。ありがとうございました。

— 拍手 —

委員長

ご苦労様でした。来年度からの設計業務については、中野区では改めて事業者を選定するということである。

それでは、本日の統合委員会はこれで終了する。